

④ 本年3月に策定された第5期障害福祉計画の内容を踏まえ、障害のある方や医療的ケア児が身近な地域で生活し、就学・就労することができる環境づくりを進めること。また、ヘルプマークの普及啓発活動を始めとして、障害のある方の社会参加及び障害への理解促進を図ること。



県作成の啓発ポスター
私の事務所にも掲示しております

- ⑤ 重症心身障害児者ができる限り身近な地域で医療支援を受けられる環境を整備するため、施設の運営に不可欠な医療人材の確保に優先的に取り組むとともに、民間法人による施設整備を促進すること。
- ⑥ がんの早期発見のため、市町村や関係機関、関係団体と連携した、がん検診の普及啓発に取り組むこと。また、ゲノム医療の実用化に向け、バイオバンクの設立等、患者一人ひとりに最適な医療を提供する「個別化医療」の取組を進め、疾病の予防にもつながるプレジジョン・メディシンの取組を進めること。
- ⑦ 居住地域に関わらず適切なアレルギー疾患医療が受けられるよう、愛知県アレルギー疾患拠点病院を中心として、アレルギー疾患患者及び家族への情報

提供を行うとともに、アレルギー疾患医療に従事する人材の育成を図ること。

- ⑧ 大規模災害時における、県内医療施設の機能の充実を図るとともに、人工透析用の水の確保や非常用電源設備の充実に取り組むこと。また、広域医療搬送先の病院との連携や福祉避難所の充実を図ること。
- ⑨ 骨髄バンクドナー支援について、ドナーが見つからず移植に至らないケースを少しでも減らすため、骨髄提供者に対する助成制度創設による経済的支援など、骨髄提供しやすくなる環境づくりに努めること。
- ⑩ 受動喫煙防止対策について、健康増進法の改正内容を踏まえて、県としての対策のあり方を研究し、積極的に取り組むこと。
- ⑪ 少子化対策について、男女の人口比率の是正や結婚支援、出産しやすい環境づくりなど、県が先頭に立って、企業や労働組合、NPO等と連携して、社会全体で積極的に取り組むこと。



参議院会館にて齋藤よしあき議員とともに健康増進法について勉強

地域に根ざした政策の実現へ

愛知県議会9月定例会は9月21日～10月16日まで開かれ、一般会計補正予算や条例の制定・一部改正など39議案を可決成立させました。

一般会計補正予算については、今夏の猛暑、また6月に発生した大阪府北部地震における小学校の塀の倒壊を受け、県立特別支援学校の空調設備の整備前倒しや県有施設における建築基準に適合しないコンクリートブロック塀の撤去費等が含まれています。

また、条例関係については、本年2月に策定された「あいち地球温暖化防止戦略2030」の実効性を高めるための「愛知地球温暖化対策推進条例」の制定や緑豊かな愛知の実現に向け、平成21年度からご負担いただいていた「あいち森と緑づくり税」の5年間延長のための条例改正をしました。



県有林の間伐作業

代表質問 谷口 知美幹事長(名古屋市昭和区選出 3期)

「あいち重点政策ファイル300プラス1」について

《Q》 「あいち重点政策ファイル300プラス1」の進捗について、知事自身の評価と、来期に向けての考えを伺う。

《知事》 産業力の強化とイノベーションの創出、「すべての人が輝く愛知」の取組みなど、300項目の政策について着実に成果を積み重ねてきた。

今後も議会と連携しつつ2022年度のジブリパークのオープン、2026年のアジア競技大会の開催、2027年度のリニア開業など、日本の未来を形作るビッグプロジェクトを成功に導き、日本をリードする未来の愛知の発展に責任を担っていきたい。

答弁で3期目出馬に意欲を示した大村知事



今後は、金融機関等の支援機関との連携を一層強め、具体的な事業化支援に取り組むとともに、人手不足が顕著な運輸、建設業の業界団体と連携して女性の活躍促進に関する先進モデルの普及に取り組んでいく。



ソーシャルビジネスプランコンテスト表彰式

サイバー犯罪対策

《Q》 サイバー犯罪に対する県警察としての取組みと、サイバー攻撃にも対応できる警察官の人材育成について伺う。

《警察本部長》 サイバーセキュリティ戦略の制定、情報技術戦略課の新設など、体制を強化した。また、重要インフラや中小企業等と連携したネットワークを構築し、最新手口の情報共有や対処訓練、ホームページのセキュリティ診断など、被害の未然防止及び拡大防止を図っている。

人材育成については、サイバー捜査能力検定や技能指導官による指導、先進企業等での研修などで、的確に対応できる能力の向上を図っている。

女性の活躍促進

《Q》 「あいちウーマノミクス」女性の起業支援等について、これまでの成果と今後の取組みを伺う。

《知事》 ソーシャルビジネスプランコンテストにより、女性の起業・活躍を支援する取組みの輪が地域に着実に広がってきている。

ひび挑戦!

7月17日、西日本豪雨の災害ボランティアで、岡山県東区平島地区に行ってきました。岡山県の被害は倉敷市真備町がよく報道されましたが、この地区でも砂川の堤防が決壊し、大きな被害が出ました。

街中、瓦礫の山がたくさんあるなか、私の任務は用水路周辺の土砂搬出でした。水を含んだ土のう袋は重いうえに臭いもきつく、炎天下での運搬作業は過酷でしたが、地元の方からの氷やトマトの差し入れがとても嬉しかったです。

この夏、秋は全国各地で大きな自然災害に見舞われました。被災された方々へのお悔やみ、お見舞いと一日も早い復旧、復興をお祈りするとともに、私たちができる活動を継続していきたいと思ひます。



ボランティア活動の昼食休憩(はまぐち誠参議院議員と)



事務所を仮移転しました。
お気軽にお立ち寄りください。

住所 春日井市庄名町2-7-8

電話 0568-29-4503

FAX 0568-29-4504

HP <http://www.hibi55.com/>



一般質問

あいちの原動力、中小企業の事業承継の推進

森井もとし議員(名古屋市守山区選出3期)は、県内の中小企業のうち約4割の経営者が事業承継の準備をしていない実態を示し、中小企業の事業承継について県の考え方を質した。大村知事は、「事業承継の問題は、放置すれば2025年頃までに約44万人の雇用、約1.6兆円のGDPが失われるなど深刻な影響を及ぼすことが懸念される。事業承継問題の解決なくして、地域経済の再生・持続的発展はない」との強い危機感を示し、中小企業経営者の円滑な世代交代・事業承継に向けた支援を行うとともに、経営革新・事業転換によって企業の更なる発展につながるよう、全力を挙げて取り組んでいくと答弁した。

お気軽にご相談ください

愛知県事業承継ネットワーク

愛知県事業承継ネットワーク

「愛知県事業承継ネットワーク」とは

経営者の高齢化や後継者不足から中小企業が廃業を余儀なくされるケースが増えています。愛知県では、公益財団法人あいち産業振興機構を事務局として、企業訪問、情報提供、商工企業・農工商会館等と連携して「愛知県事業承継ネットワーク」を構築し、地域を挙げて中小企業の事業承継を支援しています。

ネットワークの取組

- 早期・計画的な事業承継を促すための「事業承継診断」
- 事業承継に取組む企業へ無料で支援チームを派遣する「トライアル支援」等を実施しています。

事業承継に関する相談はネットワーク事務局へ！

- 何をどうしたらいいかわからない。
- 誰に相談したらいいかわからない。
- 事業承継に取組む企業が無料支援チームを派遣する「トライアル支援」等を実施しています。
- 赤字企業だが、事業を引き継ぎたい。 など

秘密は厳守いたします。どうぞお気軽にご相談ください！

まずはお問い合わせください
愛知県事業承継ネットワーク事務局
(公益財団法人あいち産業振興機構)
住所：名古屋市守山区名和町4丁目4番99号 ワインクあいち14階
TEL：052-589-2234 (専用電話)
URL：http://www.aibsc.jp/tabid/550/Default.aspx

その他の一般質問

鈴木 まさと 議員(岡崎市選出2期)

土砂災害対策、獣害対策、多文化共生の取組について

河合 洋介 議員(知多郡第一選出2期)

特別支援教育に関する諸課題、公共交通における鉄道の役割について

渡辺 靖 議員(西尾市選出1期)

三河湾の環境、農福連携の推進、河川・海岸堤防の耐震対策について

福田 喜夫 議員(日進市及び愛知郡選出1期)

愛知用水の調整池やため池の耐震対策、産業廃棄物の不適正処理等、2019年世界ラリー選手権日本ラウンドについて

大嶽 理恵 議員(豊川市選出1期)

中小企業のメンタルヘルス、児童の放課後や夏休み等の居場所、東三河振興について

政策提言書を知事へ提出

本県は製造品出荷額等が40年連続で日本一という圧倒的な産業集積を誇るなど、日本の成長エンジンとしての役割を担ってきました。

しかし、先進的な政策の裏付けとなっていた自主財源は、今後、外形標準課税の拡大などにより、県内企業の収益が税収増につながりにくくなる一方、歳出面においては高齢化により社会保障費の更なる増加が避けられず、これまで以上に厳しい行財政運営を強いら

れることになります。

新政あいち県議団では、県施策の課題を掘り下げ、将来愛知の目指すべき社会モデルを提言するため、県の総合計画や個別ビジョンなどについて進捗状況・達成度を精査・検証し「平成31年度施策及び当初予算に対する提言」を取りまとめ、9月定例議会の閉会日となる10月16日に大村知事へ提出しました。

主な提言内容

1. 子ども・女性・若者を守る取組の推進

2. 大規模自然災害への備えの充実

3. 「あいち地球温暖化防止戦略」の確実な実行

4. 地域包括ケアシステムの構築及び認知症対策の充実

5. 待機児童問題の解消等による子育て支援の充実

6. 長時間労働の是正・啓発などによる働き方改革の推進

7. 自動運転実証実験などによる次世代技術の開発支援

8. 交通事故防止対策の推進

日比たけまさ県政レポート



新政あいち県議団控室前で

以上の提言以外にも、来年オープン予定の国際展示場の整備・施設運営を通じた観光交流機能の充実や、中小企業の人材確保と事業承継の推進、更には農林水産物のブランド化及び6次産業化の推進や道路整備の推進など、愛知県が抱える諸課題の解決に向けた積極的な内容となっております。

委員会関係

先に紹介した「平成31年度施策及び当初予算に対する提言」について、私の所属する健康福祉委員会関係の内容(最重点要望2項目、重点要望11項目)を記載します。

最重点要望

地域包括ケアシステムの構築及び認知症対策の充実

3年間の地域包括ケアモデル事業の成果と課題を踏まえ、県内市町村、関係団体等へ周知するとともに、市町村における地域包括ケアシステムの構築が円滑に行われるよう支援すること。また、認知症高齢者の地域での生活を支えられる、認知症に理解の深いまちづくりを実現させるため、「あいちオレンジタウン構想」を着実に推進すること。

けた支援の充実を図ること。また、保育士の資質の向上や処遇改善、人員の確保に資する取組を推進すること。

③放課後児童クラブについて、児童の育成支援を行う放課後児童支援員の資質向上や人材確保に取り組むこと。また、子どもが安心して生活・遊びができる施設整備を促進すること。

重点要望

①痛ましい児童虐待事件を未然に防ぐため、行政・警察・医療・法曹分野との連携を強化するとともに、児童相談センターの職員の更なる増員や専門性の強化など、体制の強化を図ること。また、インターネット(SNS)の利用など、相談しやすい体制づくりに取り組むこと。

②貧困状態にある子どもたちへの支援を充実させるため、平成30年度から5年間を期間とする、子どもが輝く未来へのロードマップを計画通り実践すること。



副知事、健康福祉部長と子ども食堂を訪問

③在宅医療・介護提供体制の充実や高齢者虐待防止など、介護サービスの質の向上を図るとともに、介護離職防止対策を始めとした介護者支援にも積極的に取り組むこと。また、介護従事者の身体的・精神的負担の軽減や資格取得に対する助成等、労働環境整備や処遇改善を進めるとともに、外国人材の雇用を含めた人材確保に向けた施策の充実を図ること。



あいちオレンジタウン構想のスローガン

子育て支援の充実

子育て支援について、以下のとおり取り組むこと。

①保育所や放課後児童クラブの待機児童(隠れ待機児童含む。)の早期の解消を図ること。

②病児・病後児保育や休日保育、延長保育など多様な保育支援の拡充に向



民間の学童保育施設